

1 次期計画策定の目的

- ・ 中心市街地は公共交通や商業・行政・金融機関等が集積した利便性が高い、地域の活力を象徴する「都市の顔」として地域の経済や社会の発展に重要な役割を担っている。
- ・ 帯広市では、平成19年8月に第1期帯広市中心市街地活性化基本計画を策定し、以降、第2期計画（平成25年4月～令和2年3月）、第3期計画（令和2年4月～令和7年3月）を策定。各主体と連携を図りながら、にぎわいと魅力にあふれる中心市街地づくりに取り組んできている。
- ・ 今後も、地域の更なる魅力向上とにぎわいの創出を図るため、次期計画を策定することで、目指す中心市街地の姿や目標を地域で共有し、事業者や団体、関係機関等の多様な主体と連携しながら、中心市街地活性化に向けた取り組みを推進するもの。

2 計画の位置付けと期間

(1) 計画の位置付け

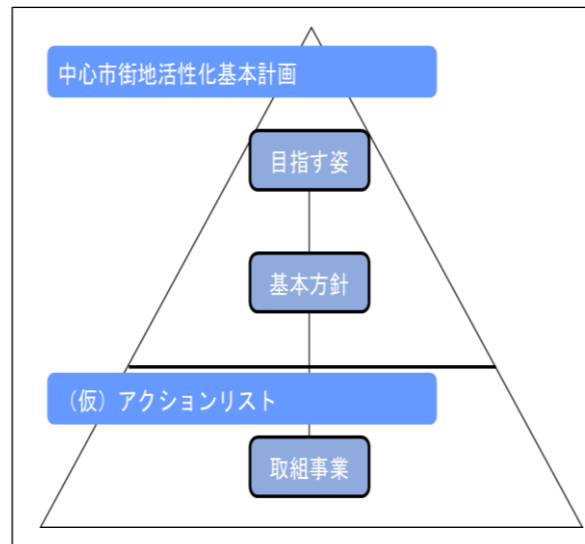
- ・ 第七期帯広市総合計画を踏まえて、中心市街地の活性化に関する分野計画として作成。
- ・ 本計画に資する取り組みは、「(仮)アクションリスト」として年度ごとにまとめる。

(2) 計画期間

令和7年度から令和11年度まで（5年間）

(3) 区域

面積約140ha（現計画と同じ）

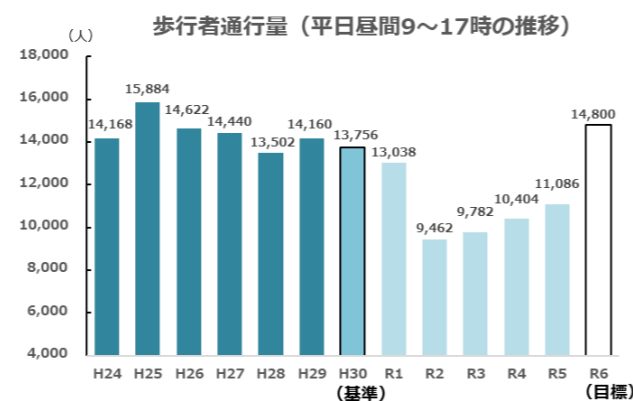


3 第3期計画の目標値から見る中心市街地の現状

歩行者通行量（平日昼間9～17時）

■中心市街地における歩行者通行量は、新型コロナウイルスの影響を受け大きく落ち込むが、近年は回復傾向に。

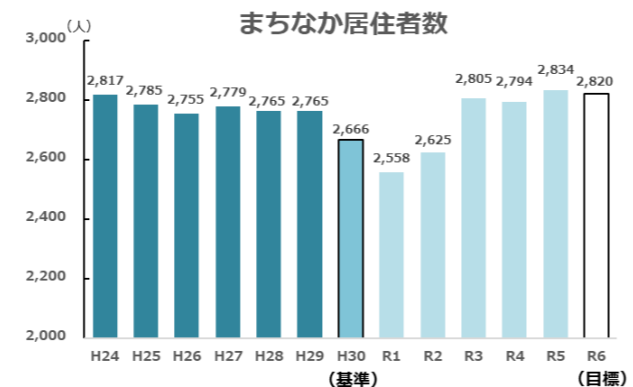
目標値に達していない



まちなか居住者数

■中心市街地における居住者数は、市街地再開発事業による分譲マンションの整備等により増加している。

目標値を上回っている



4 目指す姿

住む人、働く人、訪れる人などの笑顔と心地よさがひろがるまちなかを目指して、市民、事業者、行政などが連携・協力してまちづくりに取り組んでいくという意味をこめ、設定するもの。

目指す姿：みんなでつくる、笑顔ひろがる心地よいまちなか

5 基本的な方針と関連数値

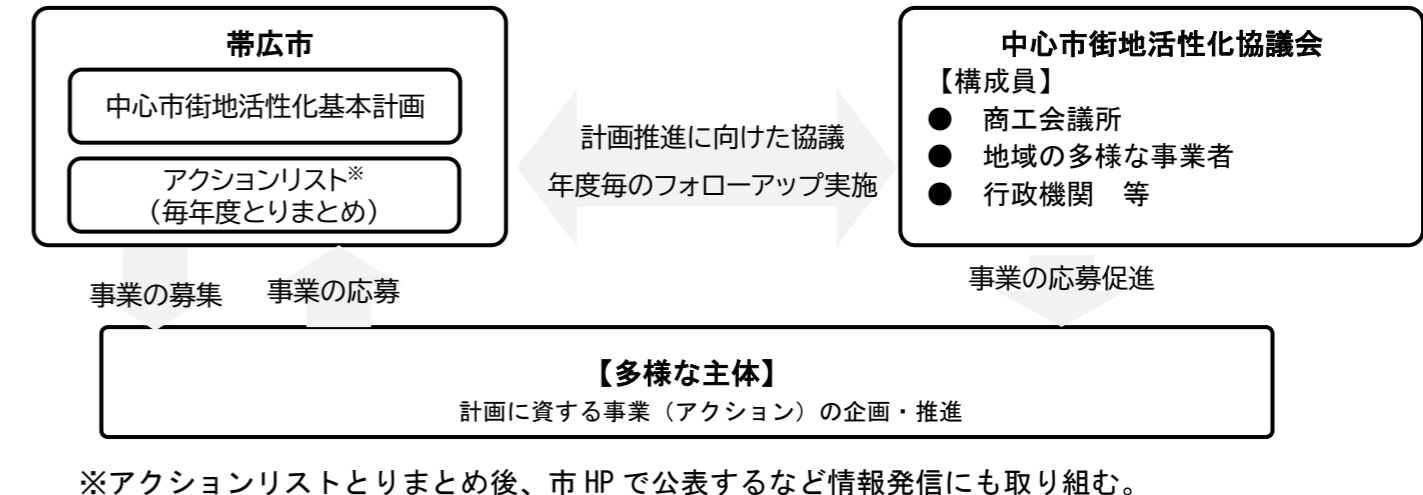
基本的な方針：目指す姿を実現していく取り組みの方向性を示すもの。

関連数値：基本的な方針毎に設定し、計画の進捗状況を把握するもの。

基本的な方針	関連数値
1. 人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり	<区域内の人に係る数値> ・「滞在人口数」や「歩行者通行量」など
2. 人がつながり、住み続けたくなるまちづくり	<居住者に係る数値> ・「社会増減数」や「中心市街地とその他の区域の増減率の比較」など
3. 未来へつなぐまちづくり	<事業数に係る数値> ・計画に資する年度毎の事業件数 ※(仮)アクションリストとして別途とりまとめる

6 推進体制

計画で定める「目指す姿」や「基本的な方針」を地域全体で共有し、市民、事業者、行政など、多様な主体が中心市街地の活性化に取り組んでいく。



7 今後のスケジュール（案）

作業工程	令和6年						令和7年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
作業工程	骨子案作成	原案作成				計画案作成			◎		
経済文教委員会		○				○			○		
		骨子案報告				原案報告			計画案報告		
パブリックコメント							↔				
中活協議会	→ 随時協議										